

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」は、県民のだれもが、いつでも、主体的、自発的に学ぶことができ、生涯にわたって、自分を磨き、自己を充実させ、豊かで生きがいのある生活を送ることができるような環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 23 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 34.6%、低認知度群は 65.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性（34.3%）が男性（34.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（49.1%）が 65 歳未満（29.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（43.3%）では、回答者全体と比較して 8.7 ポイント高い。

石巻圏域（25.7%）では、回答者全体と比較して 8.9 ポイント低い。

(%)

政策 23 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.1	31.5	34.6	53.5	11.9	65.4	100.0

性別	男性	2.8	31.4	34.2	52.2	13.6	65.8	100.0
	女性	3.1	31.2	34.3	55.2	10.5	65.7	100.0
年齢別	65 歳未満	1.9	27.4	29.3	57.0	13.7	70.7	100.0
	65 歳以上	6.1	43.0	49.1	44.0	6.9	50.9	100.0

圏域別	仙台	1.4	35.5	36.9	50.5	12.6	63.1	100.0
	仙南	2.6	28.1	30.7	54.1	15.2	69.3	100.0
	大崎	4.4	38.9	43.3	46.3	10.5	56.8	100.0
	栗原	3.2	32.5	35.7	53.6	10.7	64.3	100.0
	登米	2.9	31.6	34.5	54.5	11.0	65.5	100.0
	石巻	2.7	23.0	25.7	61.0	13.4	74.4	100.0
	気仙沼・本吉	3.8	29.3	33.1	55.6	11.3	66.9	100.0

有効回答者数 1,601 名

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 53.3%、低認知度群は 46.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

登米圏域（83.3%）では、回答者全体と比較して 30 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 57.6%、低認知度群は 42.5%である。

(%)

政策 23 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.9	46.4	53.3	39.5	7.2	46.7	100.0	
圏 域 別	仙台	6.9	43.1	50.0	39.7	10.3	50.0	100.0
	仙南	5.4	44.6	50.0	41.1	8.9	50.0	100.0
	大崎	7.7	47.4	55.1	38.5	6.4	44.9	100.0
	栗原	14.3	42.9	57.2	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	8.3	75.0	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	9.1	40.9	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0
	気山沼・本吉	5.6	47.2	52.8	44.4	2.8	47.2	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	6.1	51.5	57.6	36.4	6.1	42.5	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 23 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 80.8%、低関心度群は 19.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（82.8%）が男性（78.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（88.9%）が 65 歳未満（78.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、石巻圏域（73.7%）では 5.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（75.8%）では 5.0 ポイント低い。

(%)

政策 23 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
一般県民全体	27.7	53.1	80.8	16.8	2.4	19.2	100.0

性別	男性	27.2	51.4	78.6	18.9	2.6	21.5	100.0
	女性	27.7	55.1	82.8	15.0	2.1	17.1	100.0
年齢別	65 歳未満	23.8	54.2	78.0	19.6	2.4	22.0	100.0
	65 歳以上	38.2	50.7	88.9	8.9	2.2	11.1	100.0

圏域別	仙台	32.3	53.0	85.3	12.9	1.8	14.7	100.0
	仙南	29.2	51.9	81.1	18.0	0.9	18.9	100.0
	大崎	27.5	55.8	83.3	13.3	3.4	16.7	100.0
	栗原	27.9	52.8	80.7	17.0	2.3	19.3	100.0
	登米	28.6	54.5	83.1	14.6	2.3	16.9	100.0
	石巻	19.8	55.1	74.9	23.0	2.1	25.1	100.0
	気仙沼・本吉	26.2	49.6	75.8	20.9	3.3	24.2	100.0

有効回答者数 1,636 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 76.4%、低関心度群は 23.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 23.6 ポイント、栗原圏域(85.7%)では 9.3 ポイント、仙南圏域(83.9%)では 7.5 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域(68.6%)では 7.8 ポイント、石巻圏域(71.4%)では 5.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 83.3%、低関心度群は 16.7%である。

(%)

政策 23 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	19.5	56.9	76.4	21.9	1.8	23.7	100.0	
圏 域 別	仙台	22.0	46.6	68.6	28.0	3.4	31.4	100.0
	仙南	19.6	64.3	83.9	16.1	0.0	16.1	100.0
	大崎	15.4	65.4	80.8	17.9	1.3	19.2	100.0
	栗原	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	23.8	47.6	71.4	23.8	4.8	28.6	100.0
	気山沼・本吉	13.5	62.2	75.7	24.3	0.0	24.3	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	34.8	48.5	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 23 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 27.9%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 29.0%と推定できる。

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.7	(84.3)
満足度 60点未満の割合		55.5
要検討領域にある回答者全体の割合		39.8

有効回答者数；重視度 1,614人、満足度 1,594人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	1614	1594
	欠損値	107	127
平均値		72.30	52.21
平均値の標準誤差		.423	.438
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.002	17.501
分散		289.074	306.294
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.6	(81.4)
満足度 60点未満の割合		46.5
要検討領域にある回答者全体の割合		27.9

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		70.40	55.48
平均値の標準誤差		.868	.810
中央値		70.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.856	14.780
分散		251.413	218.443
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	53.00
	50	70.00	60.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

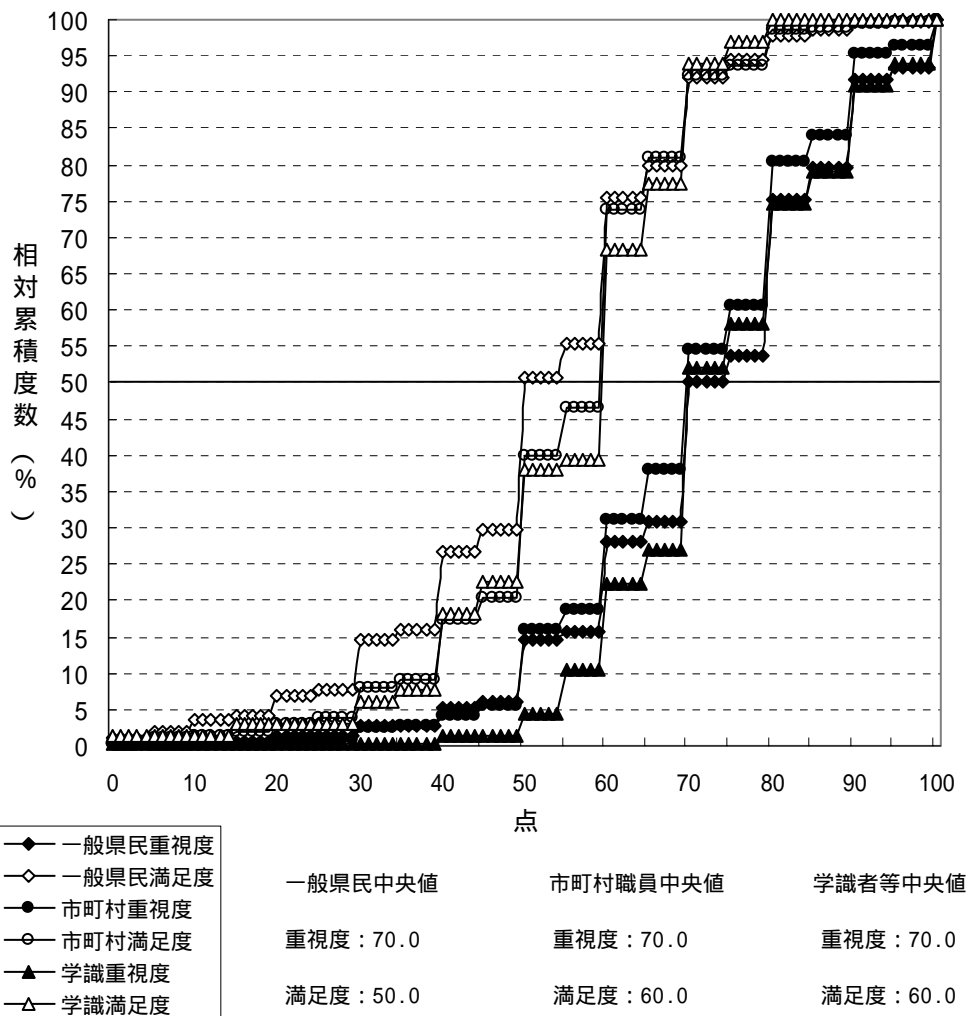
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.4	(89.6)
満足度 60点未満の割合		39.4
要検討領域にある回答者全体の割合		29.0

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		74.18	55.91
平均値の標準誤差		1.663	1.803
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		13.613	14.647
分散		185.301	214.545
範囲		60	80
最小値		40	0
最大値		100	80
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	59.00
	50	70.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

「政策23 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性(75.0点)が男性(70.0点)よりも高い。

満足度の中央値は、女性(55.0点)が男性(50.0点)よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに20.0点で同じである。

重視度の四分位偏差は、女性(12.5点)が男性(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性41.1%、女性38.6%と推定できる。

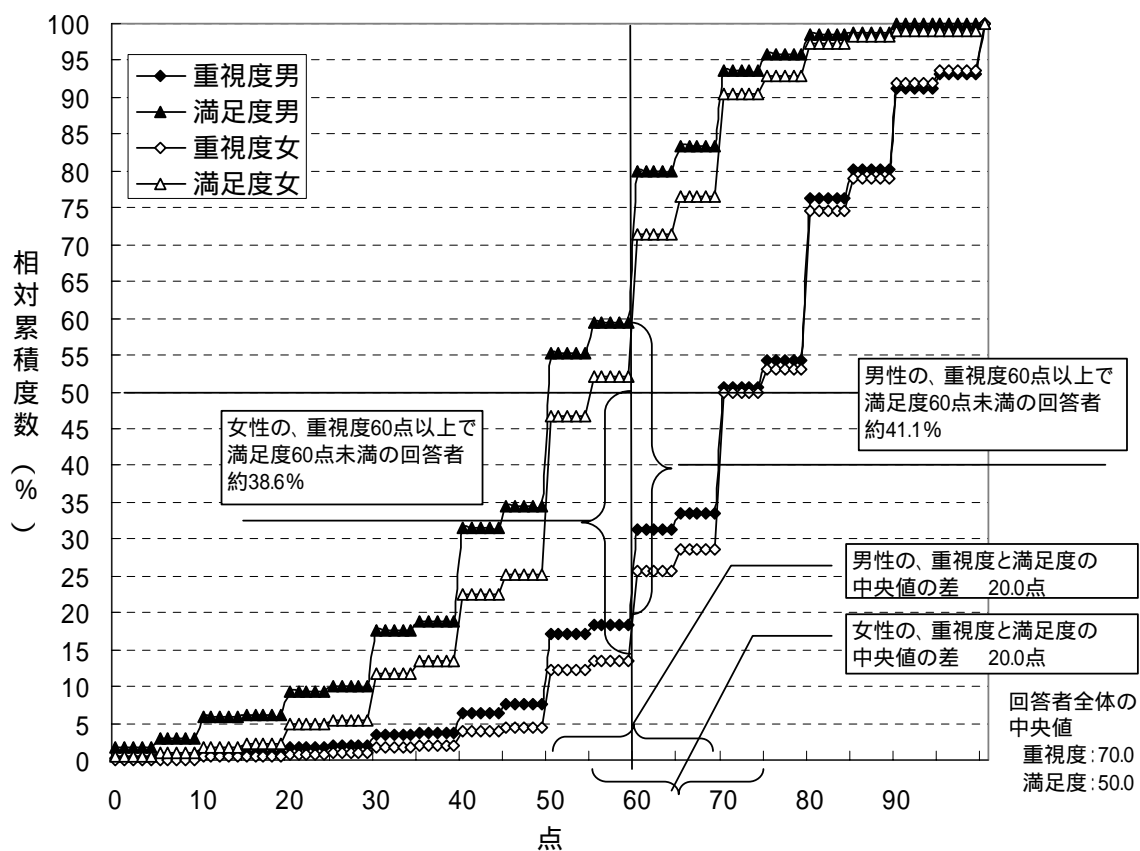
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.4 (81.6)	13.4 (86.6)
満足度 60点未満の割合	59.5	52.0
要検討領域にある回答者全体の割合	41.1	38.6

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	767	761
	欠損値	36	42
平均値		71.32	49.82
平均値の標準誤差		.651	.657
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.016	18.112
分散		324.569	328.058
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	830	816
	欠損値	66	80
平均値		73.16	54.38
平均値の標準誤差		.553	.584
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.944	16.677
分散		254.197	278.137
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（7.5 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 40.9%、65 歳以上 36.7%と推定できる。

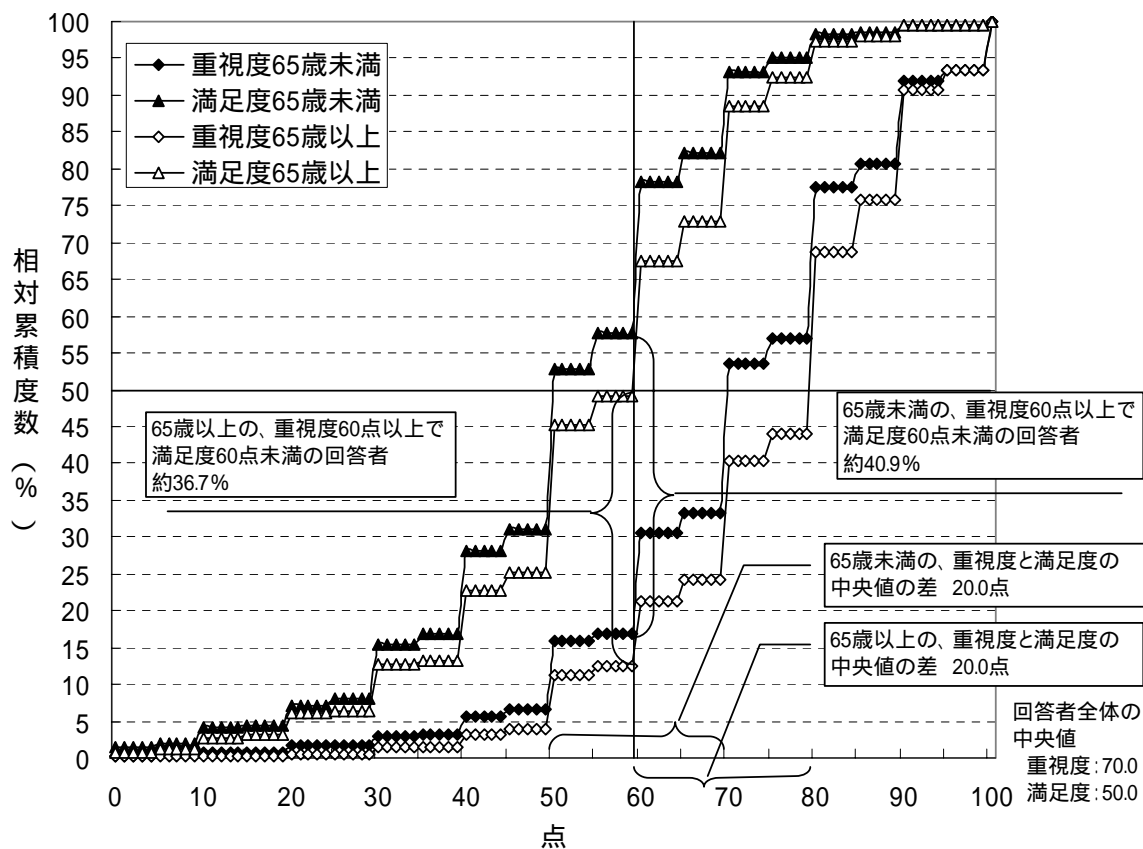
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.9(83.1)	12.4 (87.6)
満足度 60 点未満の割合	57.8	49.1
要検討領域にある回答者全体の割合	40.9	36.7

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	1192	1180
	欠損値	48	60
平均値		71.25	51.32
平均値の標準誤差		.502	.508
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.338	17.438
分散		300.609	304.093
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	403	395
	欠損値	54	62
平均値		75.32	54.77
平均値の標準誤差		.776	.884
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.570	17.566
分散		242.433	308.577
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域 (80.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント、仙台圏域 (75.0 点)、大崎圏域 (75.0 点)、栗原圏域 (75.0 点)、登米圏域 (75.0 点) の 4 圏域が 5 ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点) が回答者全体 (50.0 点) よりも 10 ポイント、登米圏域 (55.0 点)、石巻圏域 (55.0 点) が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域 (12.5 点)、登米圏域 (12.5 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域 (12.5 点)、大崎圏域 (12.5 点)、栗原圏域 (12.5 点) の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、登米圏域 (7.5 点)、石巻圏域 (7.5 点) の 2 圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 (77.5 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 7.5 ポイント、大崎圏域 (75.0 点) が 5 ポイント高く、石巻圏域 (60.0 点) が 10 ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域 (50.0 点) が回答者全体 (60.0 点) よりも 10 ポイント、仙南圏域 (55.0 点) が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域 (12.5 点)、栗原圏域 (12.5 点)、気仙沼・本吉圏域 (10.6 点) の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、登米圏域 (8.8 点)、石巻圏域 (8.1 点)、仙南圏域 (7.5 点) の 3 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (10.6 点)、仙南圏域 (10.0 点) の 2 圏域が回答者全体 (7.5 点) よりも大きく、栗原圏域 (5.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (5.0 点) の 2 圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	75.0	80.0	75.0	75.0	75.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	55.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	30.0	15.0	25.0	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	25.0	10.0	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	85.0	80.0	80.0	85.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	70.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0	12.5	12.5	7.5	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	75.0	70.0	77.5	60.0	70.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	15.0	10.0	17.5	10.0	10.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	65.0	60.0	65.0	62.5	58.8	58.8
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	55.0	55.0	40.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	7.5	18.8	8.8
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	85.0	80.0	80.0	90.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	70.0	61.3	60.0
	かい離	15.0	20.0	15.0	15.0	25.0	10.0	13.8	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	7.5	10.0	12.5	8.8	8.1	10.6
	満足度	7.5	7.5	10.0	7.5	5.0	7.5	10.6	5.0

4. 政策 23 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」(31.3%) である。

第 2 位は施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」(29.8%) である。

第 3 位は施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」(17.6%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」(33.9%) である。

第 2 位は施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」(21.3%) である。

第 3 位は施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」(19.5%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」(31.3%) である。

第 2 位は施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」(28.4%) である。

第 3 位は施策 5 「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」(17.9%) である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、女性では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である。

第 2 位は、男性では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、女性では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である。

第 3 位は、男性女性とも、施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、65 歳以上では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、65 歳以上では施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 5 「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」、65 歳以上では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である。

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、大崎、登米の4圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、栗原、石巻、気仙沼・本吉の3圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である。

第2位は、仙台、仙南、大崎、登米の4圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、栗原、石巻、気仙沼・本吉の3圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である。

第3位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の5圏域では施策2「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」、仙台、石巻の2圏域では施策5「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」である。

市町村職員では、

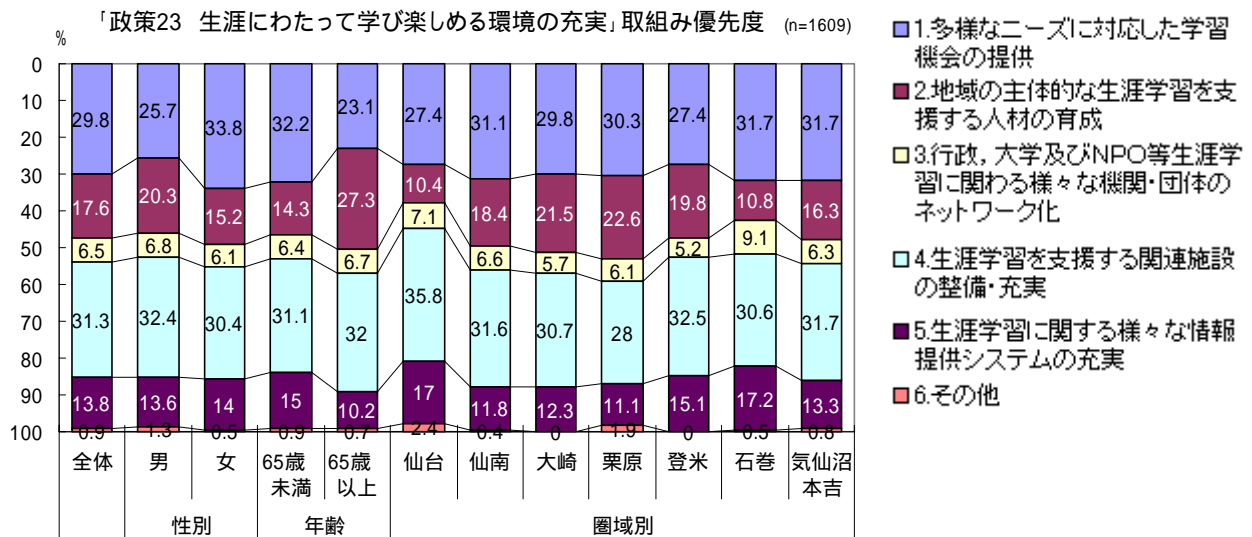
第1位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の6圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、石巻圏域では施策5「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」、気仙沼・本吉圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である（気仙沼・本吉圏域では施策1と施策4が共に第1位になっている）。

第2位は、大崎、登米、石巻に3圏域では施策2「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」、仙台、仙南の2圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、栗原圏域では施策6「その他」、登米圏域では施策3「行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化」である（登米圏域では施策2と施策3が共に第2位になっている）。

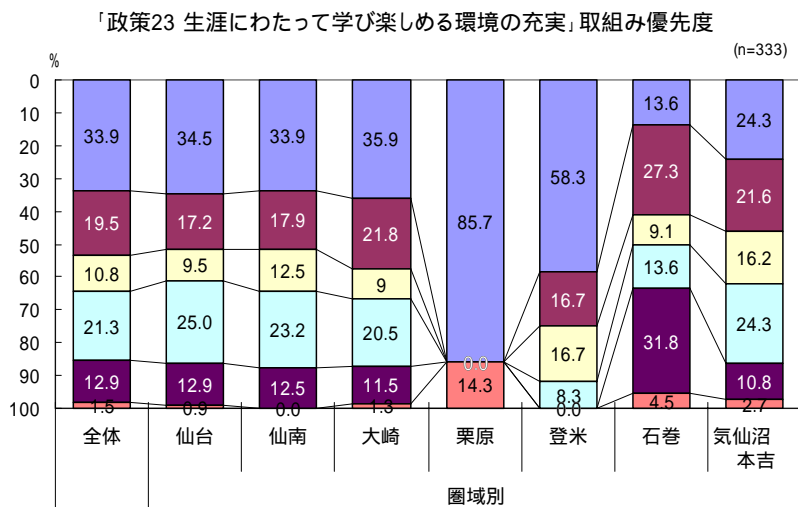
第3位は、仙台、仙南、栗原、気仙沼・本吉の4圏域では施策2「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」、大崎、栗原、石巻の3圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、栗原圏域では施策3「行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化」と施策5「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」、石巻圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である（栗原圏域では施策2、施策3、施策4、施策5が、石巻圏域では施策1と施策4が、共に第3位であった）。

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

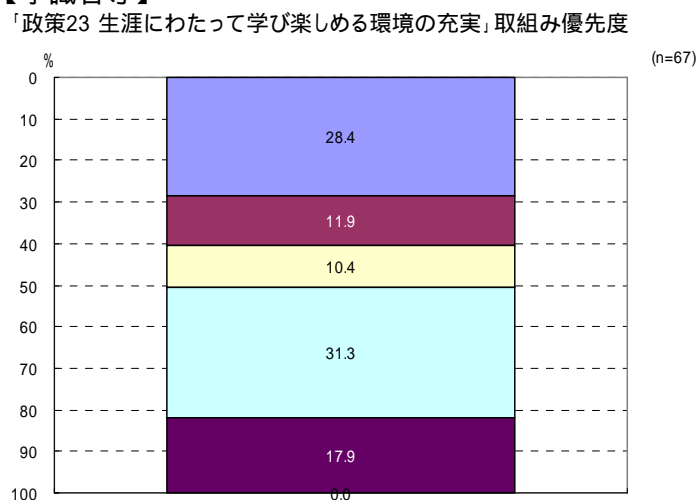
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.多様なニーズに対応した学習機会の提供	29.8	25.7	33.8	32.2	23.1	27.4	31.1	29.8	30.3	27.4	31.7	31.7
2	2.地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	17.6	20.3	15.2	14.3	27.3	10.4	18.4	21.5	22.6	19.8	10.8	16.3
3	3.行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク	6.5	6.8	6.1	6.4	6.7	7.1	6.6	5.7	6.1	5.2	9.1	6.3
4	4.生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	31.3	32.4	30.4	31.1	32.0	35.8	31.6	30.7	28.0	32.5	30.6	31.7
5	5.生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	13.8	13.6	14.0	15.0	10.2	17.0	11.8	12.3	11.1	15.1	17.2	13.3
6	6.その他	0.9	1.3	0.5	0.9	0.7	2.4	0.4	0.0	1.9	0.0	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.多様なニーズに対応した学習機会の提供	33.9	34.5	33.9	35.9	85.7	58.3	13.6	24.3
2	2.地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	19.5	17.2	17.9	21.8	0.0	16.7	27.3	21.6
3	3.行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク	10.8	9.5	12.5	9.0	0.0	16.7	9.1	16.2
4	4.生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	21.3	25.0	23.2	20.5	0.0	8.3	13.6	24.3
5	5.生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	12.9	12.9	12.5	11.5	0.0	0.0	31.8	10.8
6	6.その他	1.5	0.9	0.0	1.3	14.3	0.0	4.5	2.7

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.多様なニーズに対応した学習機会の提供	28.4
2	2.地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	11.9
3	3.行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク	10.4
4	4.生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	31.3
5	5.生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	17.9
6	6.その他	0.0

